

**9****都市(大阪)勤務者における動脈硬化性疾患の動向に関するコホート研究**

研究代表者名：木山昌彦

共同研究者名：井戸正利

施設名：大阪府立健康科学センター

**目的**

都市部の自治体が主体となって実施する健診の受診者は、特に男性においては、自営業者が主体となり、若年男性が少ない傾向にある。そこで、経年的に健診を受診する都市勤務者集団をコホートとして設定し、動脈硬化性疾患の発症を把握、登録を行う。

**対象**

今回対象とする都市勤務者集団の属する企業は、大阪市の中心部に位置しており、2003年度に於ける従業員は約881人である。循環器健診を年2回実施しており、退職情報も全数把握できる。また、事業所数が少ないため転勤者が少なく、その健診成績も把握できる。対象者数計881人のうち、男736人、女145人で性比は男5対女1である。年齢区分別割合は、39歳以下が55%、40歳代が20%、50歳代が17%、60歳代が8%である。

**方法**

基本項目(血圧、血液検査、既往などの調査)および必須項目については2003年度に実施済みである。生活習慣調査においては、栄養調査879例、身体活動調査880例が実施済みである。発症者の情報は年2回の健診時に行い、判定困難例については、産業医を通じて主治医から情報を得ている。

**結果**

退職者は85名であり、死亡者はなかった。また、昨年度は脳血管疾患、虚血性心疾患の発症者は認められなかった。

**考察**

コホートの規模が小さいことと、年齢層が若いことから発症者数は少ない。しかし、今後も継続して調査を実施し、都市勤務者における発症者のリスクの把握に努めたい。